

2015年1月5日

報道関係各位

NECネットエスアイ株式会社

### 2015年社長年頭訓示要旨について

NECネットエスアイ(東京都文京区、東証第一部 1973、NESIC)では、本日、社長の和田雅夫が、社員に向けて2015年の年頭訓示を行いました。要旨は以下のとおりです。

#### <2015年 年頭訓示要旨>

#### 【中期経営目標を達成し、次の成長へ向けたステップの年としよう】

2014年を振り返って、まず、コンプライアンス強化への誓いを改めて確認しよう。2013年末に発覚した連結子会社における不正事件は大きな反省であり、2014年は、再発防止に向けてのコンプライアンス強化に全力を尽くした。本年も、この反省を忘れることなく事業を遂行していきたい。

事業面においては、2014年は中期成長へ向け、着実に成果を上げた年であった。社会インフラ分野においては、消防・防災システムのデジタル化をはじめとした活発な公共投資に積極対応し、前年に引き続き受注・売上が大きく伸びている。一般企業分野でも、大手企業を中心にした ICT 投資の回復を捉えて、受注が拡大した。特に、企業向けの中核事業である働き方改革ソリューション “EmpoweredOffice※(EO)” 事業においては、国内主要支社・支店のEO化を完了した。これら各拠点にもたくさんのお客様が見学に来て頂いており、受注拡大に向け着実に成果が出てきている。海外においても、タイでの3Gインフラや、サウジアラビアの石油プラント通信設備など、現地法人をベースにした現地顧客深耕に成果を上げた。

サービス基盤の強化の面では、都内に分散していたサービス機能を集約し、sDOC(サービスデリバリーオペレーションセンター)を東京都江東区辰巳に設立した。部材・製品の受入・保管・配送といった物流サービスから、評価・検証、修理、システム設定などの技術サービスまでを一気通貫で提供できるものであり、当社ならではのサービス内容・レベルでお客様に安心してサービスをお任せいただける。

また、今後に向けた知名度の向上のため、テレビCMをはじめとした企業広告といった新たな取組みも始め、新入社員による被災地支援活動が社外から認められるなどの嬉しいニュースもあった。

2015年の事業環境は、分野ごとに強弱はあるものの、全体としては堅調に推移するものとする。通信事業者によるネットワーク強化投資には不透明感があるものの、公共分野においては、安心・安全をテーマとしたICT投資は引続き活発であると見込まれるし、企業のICT投資も継続して拡大が期待できる。

このような中、当社にとって2015年は、中期経営計画の最終年度であると同時に、その次の成長に向けたステップとなる重要な年である。足元の堅調な事業環境を活かして、今期予算、そして中期目標を確実に達成するとともに、今後に向けた一層の事業強化を行うことが重要である。そのためにも、原価・SG&A改革やプロジェクトマネジメント力の強化など、より収益力のある事業構造への変革に向けた努力を継続すると同時に、今まで行ってきた成長施策を活かし、サービス事業をはじめとした新たな事業を強化、加速させていこう。

2015年も NEC ネットズアイ・グループ全社員一丸となって、コンプライアンス最優先で中期目標を達成し、次の成長に向けて新たなチャレンジをしていこうではないか。

※ EmpoweredOffice(エンパワードオフィス) :

当社の提供するオフィス改革ソリューション。当社の強みであるICT(情報通信技術)とファシリティ施工力を融合し、より知的で創造的なワークスタイルへの業務プロセス改革を実現するとともに、セキュリティ強化や環境対応力といった社会的責任に応える「働き方」と「働く場」の改革を提案するもの。

明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットズアイは、

お客様の目線に立ったこれからのコミュニケーションをデザインする会社として

お客様の価値向上に取り組んでまいります。

<本件に関する報道関係からの問い合わせ先>

NECネットエスアイ 企画部

電話 (03)6699-7007(直通)

私たちNECグループは、  
「人と地球にやさしい情報社会をイノベーションで実現する  
グローバルリーディングカンパニー」を目指しています。